

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	11
支出年月日	2023 年 10 月 20 日
項 目 (該当項目に0をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）	
充 当 内 容 (按分の計算方法)	$26,972 \times 0.8 = 21,578$
そ の 他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収書



山口みさえ

取引年月日：2023年10月20日(金)

領収書番号：[REDACTED]

ラクスル株式会社

下記正に領収いたしました。

〒1410021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイルIF

登録番号：T9010401089631

合計金額 (税込) 26,972円

10%対象 26,972円 (内消費税: 2,452円)

注文番号

商品

数量

金額

備考

チラシ・フライヤー / A3 / 両面カラー / 光
沢紙(コート) / 薄手: 73kg / 折り加
工: DM折り(2つ折り+巻き3つ折り)

2,500部

24,060円

出荷予定日: 2023年10月25
日

※は軽減税率対象であることを示します。

注文内容

商品合計: 24,060円
データチェックお急ぎ便: 460円

小計 (税抜)

24,520円

合計金額 (税込)

26,972円

お支払い方法: コンビニ支払い

お客様へ (必ずご確認ください)

本書面について不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://rakusol.com/contact/>) からご連絡ください。

みさえ広場つうしん

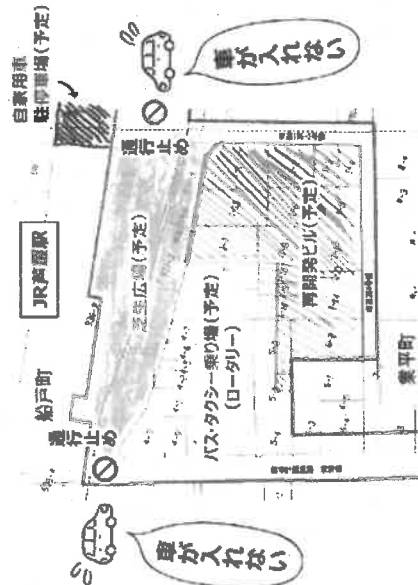
新社会党

新社会党

発行 市会議員 山口みさえ
連絡先 穂道町7-6 芦屋市役所南館3階 TEL/FAX 38-2057
ホームページ <http://misae-hiroba.com/>

2023年10月25日

JR南再開発は、経緯経過をふまえた審議必要



駅南の東西線遮断は、交通課題の解消にならないこととは検証済み

9月議会報告

指定管理「市民の健康福祉増進」が制度趣旨

9月議会は、8月28日から10月6日の日程でした。市長 提出議案12件中、補正予算4面に紹介、市内の公園やプ

最賃スルスルで運営

指定管理「市民の健康福祉増進」が制度趣旨

ールの指定管理者制度（公共施設の管理運営を民間企業や団体に任せて経費削減と市民サービスの向上を目的に導入された）の選定について討論に立ちました。

市民の健康福祉増進という公的目的に沿って企業・団体が管理運営できているかのチェックをしました。公募者選定時に多くの事業内容がプランとして出され評価されているものの、実態は市民サービス向上よりも営利が優先されたり、公的施設で働く人たちが最低賃金か、スレスレのところなど不安定な状況にあることなど改善すべき点を指摘しました。

一般質問では4項目（JR芦屋駅南再開発、ごみ処理施

山口みさえとともに！

安心して過ごせる居場所に喜び

児童クラブ ひまわり学級の増設が実現

精進小学校ひまわり学級 プレハブ施設増設のニュースは、私たち指導員にとっても本当に嬉しく、この数年の子どもたちへの申し訳なさや日々の葛藤が晴れる思いがしました。

放課後児童クラブは、子どもたちが学校から「ただ

いま」と帰ってきて、指導員が「おかえり」といって迎えます。毎日の生活の積み重ねを通して、子どもたちにとって安心して帰ってこられることのできる場所、居場所となつていきます。

ひまわり学級では、児童数増加に伴い2021年度

から、小学校の算数教室の時間間借りでの運営や、定員を大幅に超える受け入れで凌いできました。

定員を大幅に超える学級は、子どもの活動等のスペースが十分に確保されず、安全にのびのびと過ごすことや子どもたち1人ひとりに寄り添うことに限界を感じていました。借り学級では、専有ではないことで、子どもたちが帰ってくる時間に合わせて算数教室

から、放課後児童クラブ仕様に変えては元に戻す毎日を繰り返して、子どもたちが安心して帰ってこられる居場所となりえるのか、常に葛藤する日々でした。

この状態がいつまで続くのだろう...と暗い気持ちでしたが、山口みさえさんは事あるごとに、現場の状況や子どもたちの様子、私たち指導員の思いを聞いてくれました。また、聞くだけでなく、議会等で発信し、私たちの思いと一緒に訴え続けてくれたことが、私たちの希望となり励みになりました。

プレハブが建つ...次は子どもたちが安心して過ごせる中身となりますように。

指導員 A

9月議会の報告会を開催します

ぜひ、ご参加下さい

とき 11月5日(日) 午前10時〜11時半

ところ 打出集会所(大東町17-13)

みさえのめどり言

6月9日からスタートした手話ボランティア養成講座基礎編が11月17日に修

了。毎週金曜日の夜7時に通つて、手話も少しだけ読み取ったり、会話ができるようになってきた。と言っても先生が私たち受講生に合わせてゆつくり、そして粘り強く教えてくれたとのこと。ろう者の方たちの手話や指文字の速さの仲間入りにはまだまだ修行が必要。手話を通して先生や受講生の人たちとは、不思議と仲間意識ができて金曜日にみんなと会うのが待ち遠しかったり、復習日を設けて自主練したり、グループラインで情報交換をしたりと、素敵な方たちと出会えたことが1番の宝物になった。

設、教育の充実、感染症対策)にわたって質問しました。JR南再開発については、5月に就任した高島市長のもと、良いまちづくりをめざして、事業内容の見直しが行われることはありうることです。ただこれまでの経緯経過を無視した提案、例えばロータリーに芝生広場をつくつて駅前東西線(現在、車道路)を遮断するという案は、すでに東西線の一方通行、速度制限等警察とも相談・検討し、JR南の交通課題の解消に反することが立証されてきたことです。それを再度検証し直すというのは時間と税金の無駄使いです。

その他、市長が打ち出した5原則に基づく見直し案(ペダストリアンデッキ等の拡充)は財源も大きく膨らみますが具体的な金額は何も示されていません。

芦屋市議会議員

山口みさえ

[illegible]

熱帯海峽の真子線位置と赤道

福祉、教育、感染症対策など、次年度予算に反映されるよう発言

枠配分でなく、必要なところには予算を

2022年度の会計決算認定について、山口みさえは一般会計等（5会計）に反対しました。芦屋市は予算を削るために、3年前に「概算要求方式」から「枠配分方式」に変更し、ここ数年黒字決算が続いていますが、必要なものを削るだけでなく、決められた枠内に予算をはめるため、各所管課は必要経費を要望すらしていない等、この間、枠配分の問題点を本通信でもお伝えしてきました。

数年黒字決算が続いて、
いることについて高島市
長は、若い世代の減少や
介護人材不足など多くの
課題があるのに市が対処
すべき課題に十分手が打
てていないからお金が余
っており、将来に向けて
本質的な課題解決に予算
を使っていくと、この間
発言してきました。

山口みさえは、所属する民生文教決算分科会の3日間ある集中審査の中で、大切な税金が市民の

暮らして福祉、教育保育の増進にしっかり充てられているかという視点で、質疑をかせね、決算事項明細書やその他事務報告書など14冊にもわたる膨大な資料から、保育所、認定こども園、学童保育

感染症対策はまだまだ課題山積

新型コロナウイルスが感染法上2類から5類相当に変更したことによって、国・県は事業の縮小・廃止を進めています。医療費、検査、ワクチンは無料から有料へ。介護・宿泊療養施設や後遺症に関する相談専用窓口は閉鎖といった具合です。

感染者は減少どころか
定点観測では増加してお
り、コロナだけではなく、
インフルエンザやヘルペ
ンギーナ、プール熱など
感染症が猛威を振るい現



の施設整備や不登校の問題、奨学金や入学支度金をはじめとした子どもたちの教育の機会均等の権利、高齢者見守り事業や介護保険制度のあり方充実、不用額の検証など、行政に多くの指摘や意見を述べながら次期予算に反映されるよう要望を行いました。

在学級閉鎖が頻繁に発生しています。感染やワクチン接種での後遺症問題はこれから本格的に取り組まなくてはならない課題です。

芦屋市も国、県の方針に沿って濃厚接触者の定義がなくなったとして随

行政の仕事が外注化、非正規増に懸念

包括管理業務委託が増加しており、芦屋市は各職場の窓口、施設管理、改修工事、樹木剪定など数え切れない業務を外注化しています。

業務に精通している職員が職場全体を通して、また市民と共同で事業を完成させていく中にやりがいも生まれ、力を発揮するものだと思います。

しかし職務は細分化さ

が、高齢者の宿泊療養施設のサービス支援を打ち切ったり、芦屋病院も地域医療の最前線で感染患者と向き合っているのに国からの空床保障が削減され経営が逼迫する状況がつくられています。

山口みさえは、5類に移行しても市民の実態から継続しなくてはならない事業は、市が責任を持ち、財源を国、県にしつかり求めていくよう訴えました。

れ事業の計画策定等の事務だけの業務となれば、立派な計画を立てることはできるでしょうが、公的事業の充実は期待できません。また非正規職員が年々増加しており、現場や窓口業務は非正規労働者が中心でまわっている状況です。不安定な労働条件の圧倒的多数が女性であるのも問題です。



©YAMAGUCHIMISAE1120

市長が神戸市と広域化を提案

単独を決定していたごみ焼却施設

芦屋市は、2017年から4年間、負担を抑えられるだけでなく、ごみ焼却に伴う発電量の増加によって売電収入も見込むことができ、CO₂の排出量も削減可能で、過去の経緯を担当者に聞きながら未来志向のごみ処理を実現すると広域化を市民に訴えてきた。その方針を決めました。

2021年には基本構想を取りまとめ、現在基本計画策定が半分まで進んでいます。焼却炉の形式や、公害防止基準を決定し、芦屋市に単独事業として補助金を出すことはありません。

重ねています。基本計画が進めば、国への補助金申請をするわけですが、高島市長から単独計画です。そのまま進めて、もう一方で神戸市とのごみ処理施設の広域化を模索するとの提案が9月議会初日に発表されました。単独でなくしては困ります。単独で見据えたわかりやすいビジョンでなくてはなりません。

高島市長は選挙公約で、近隣市との共同でのごみ処理は費用

基本構想を経て基本計画が半分まで進んでいる

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	12										
支出年月日	2023 年 10 月 20 日										
項 目 (該当項目に0をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費						
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費						
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）											
山口 みさえ 様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>新聞・雑誌名</th> <th>部数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「しんぶん赤旗」日曜版</td> <td>* 1</td> <td>930</td> </tr> </tbody> </table> *印は税率8% 日本共産党発行の しんぶん赤旗 領 収 書 930 円 2023 年 10 月分 上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。 日本共産党西宮・芦屋 地区委員会 〒663-8234 西宮市津門住江町5-11 TEL 0798-23-2281 領収日 10 / 20 役者						新聞・雑誌名	部数	金額	「しんぶん赤旗」日曜版	* 1	930
新聞・雑誌名	部数	金額									
「しんぶん赤旗」日曜版	* 1	930									
充 当 内 容 (按分の計算方法)											
そ の 他											

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	13	
支出年月日	2023 年 10 月 30 日	
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 会議費	研修費 資料作成費
	広報費	広聴費
	資料購入費	要請・陳情活動費
	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)		
領収書 山口 けい子 様 [別納引受] 区内特別基 (定) @73 1,232通 ¥89,936 小 計 ¥89,936 第一種定形 @84 97通 ¥8,148 小 計 ¥8,148 郵便物引受合計通数 1,329通 課税計(10%) ¥98,084 (内消費税等(10%) ¥8,916) 非課税計 ¥0 合計 ¥98,084 お預り金額 ¥100,000 おつり ¥1,916 印紙税申告納 付につき廻町 税務署承認済		
充当内容 (按分の計算方法)	98084 × 0.8 = 78468	
その他		



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2023年10月30日 14:30
発行No. 231030A9920 端N67箱13
連絡先: 芦屋郵便局
TEL: 0570-943-193

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにし
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

山口みさえとともに！

安心して過ごせる居場所に喜び

児童クラブ ひまわり学級の増設が実現

精進小学校ひまわり学級 プレハブ施設増設のニュースは、私たち指導員にとっても本当に嬉しく、この数年の子どもたちへの申し訳なさや日々の葛藤が晴れる思いがしました。

放課後児童クラブは、子どもたちが学校から一た

いま」と帰ってきて、指導員が「おかえり」といって迎えます。毎日の生活の積み重ねを通して、子どもたちにとって安心して帰ってくるのできる場所、居場所となつていきます。

ひまわり学級では、児童数増加に伴い2021年度

から、小学校の算数教室の時間間借りでの運営や、定員を大幅に超える受け入れで凌いできました。

定員を大幅に超える学級は、子どもの活動等のスペースが十分に確保されず、安全にのびのびと過ごすことや子どもたち一人ひとりに寄り添うことに限界を感じていました。借り学級では、専有ではないことで、子どもたちが帰ってくる時間に合わせて算数教室

から、放課後児童クラブ仕様に変えては元に戻す毎日繰り返して、子どもたちが安心して帰ってこられる居場所となりえるのか、常に葛藤する日々でした。

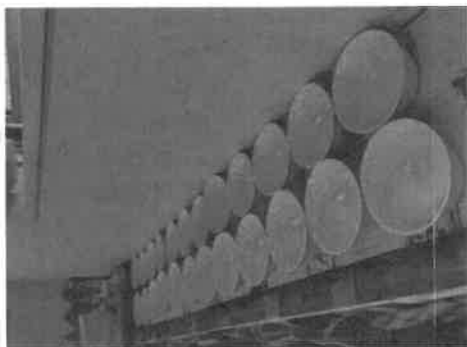
この状態がいつまで続くのだろう...と暗い気持ちでしたが、山口みさえさんは事あるごとに、現場の状況や子どもたちの様子、私たち指導員の思いを聞いてくれました。また、聞くだけでなく、議会等で発信し、私たちの思いと一緒に訴え続けてくれたことが、私たちの希望となり励みになりました。

プレハブが建つ...次は子どもたちが安心して過ごせる中身となりますように。

指導員 A

みさえのひとこと

6月9日からスタートした手話ボランティア養成講座基礎編が11月17日に修了。毎週金曜日の夜7時に通つて、手話も少しだけ読み取ったり、会話ができるようになってきた。と言っても先生が私たち受講生に合わせてゆっくり、そして粘り強く教えてくれたこと。ろう者の方たちの手話や指文字の速さの仲間入りにはまだまだ修行が必要。手話を通して先生や受講生の人たちとは、不思議と仲間意識ができて金曜日にみんなと会うのが待ち遠しかったり、復習日を設けて自主練したり、グループラインで情報交換をしたりと、素敵なたちと出会えたことが1番の宝物になった。



児童定員オーバーで、おやつを用意するにも皿を置く場所が確保できず、窓のそばに並べなくてはならないほど

9月議会の報告会を開催します

ぜひ、ご参加下さい

とき 11月5日(日) 午前10時～11時半

ところ 打出集会所(大東町17-3)

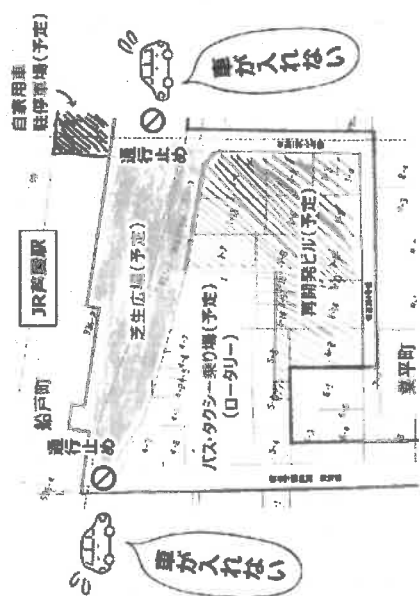
みさえ広場つうしん



新社会党
市会議員 山口みさえ
発行 市会議員 山口みさえ
連絡先 精進町7-6 芦屋市役所南館3階 TEL/FAX 38-2057
ホームページ <http://misae-hiroba.com/>

JR南開発は、経緯経過をふまえた審議必要

9月議会は、8月28日から10月6日の日程でした。市長提出議案12件中、補正予算(4面に紹介、市内の公園やプ



駅南の東西線遮断は、交通課題の解消にならないことは検証済み

ールの指定管理者制度(公共施設の管理運営を民間企業や団体に任せて経費削減と市民サービスの向上を目的に導入された)の選定について討論に立ちました。

市民の健康福祉増進という公的目的に沿って企業・団体が管理運営できているかのチェックをしました。公募者選定時に多くの事業内容がプランとして出され評価されているものの、実態は市民サービス向上よりも営利が優先されたり、公的施設で働く人たちが最低賃金が、スレスレのところなど不安定な状況にあることなど改善すべき点を指摘しました。

一般質問では4項目(JR 芦屋駅南開発、ごみ処理施設、教育の充実、感染症対策)

にわたって質問しました。JR南再開発については、5月に就任した高島市長のもと、良いまちづくりをめざして、事業内容の見直しが行われることはありうることです。ただこれまでの経緯経過を無視した提案、例えばロータリーに芝生広場をつくって駅前東西線(現在、車道路)を遮断するという案は、すでに東西線の一方通行、速度制限等警察とも相談・検討し、JR南の交通課題の解消に反することが立証されてきたことです。それを再度検証し直すというのは時間と税金の無駄使いです。

その他、市長が打ち出した5原則に基づく見直し案(ペデストリアンデッキ等の拡充)は財源も大きく膨らみますが具体的な金額は何も示されていません。

芦屋市議会議員

山口みさえ

基本構想を経て基本計画が半分まで進んでいる

福祉、教育、感染症対策など、次年度予算に反映されるよう発言

枠配分でなく、必要なところには予算を

2022年度の会計決算認定について、山口みさえは一般会計等（5会計）に反対しました。芦屋市は予算を削るために、3年前に「概算要求方式」から「枠配分方式」に変更し、ここ数年黒字決算が続いていますが、必要なものを削るだけでなく、決められた枠内に予算をはめるため、各所管課は必要経費を要望すらしていない等、この間、枠配分の問題点を本通信でもお伝えしてきました。

数年黒字決算が続いていることについて高島市長は、若い世代の減少や介護人材不足など多くの課題があるのに市が対処すべき課題に十分手が打てていないからお金が余っており、将来に向けて本質的な課題解決に予算を使っていくと、この間発言してきました。

山口みさえは、所属する民生文教決算分科会の3日間ある集中審査の中で、大切な税金が市民の

暮らしや福祉、教育保育の増進にしっかり充てられているかという視点で、質疑をかせね、決算事項明細書やその他事務報告書など14冊にもわたる膨大な資料から、保育所、認定こども園、学童保育

感染症対策はまだまだ課題山積

新型コロナウイルスが
感染法上2類から5類相
当に変更したことによっ
て、国、県は事業の縮小
廃止を進めています。医
療費、検査、ワクチンは
無料から有料へ。介護宿
泊療養施設や後遺症に關
する相談専用窓口は閉鎖
といった具合です。

感染者は減少どころか
定点観測では増加してお
り、コロナだけではなく、
インフルエンザやヘルペ
ンギーナ、プール熱など
感染症が猛威を振るい現



の施設整備や不登校の問題、奨学金や入学支度金をはじめとした子どもたちの教育の機会均等の権利、高齢者見守り事業や介護保険制度のあり方充実、不用額の検証など、行政に多くの指摘や意見を述べながら次期予算に反映されるよう要望を行いました。

在学級閉鎖が頻繁に発生
しています。感染やワク
チン接種での後遺症問題
はこれから本格的に取り
組まなくてはならない課
題です。

芦屋市も国、県の方針
に沿って濃厚接触者の定
義がなくなったとして障

行政の仕事が外注化、非正規増に懸念

包括管理業務委託が増加しており、芦屋市は各職場の窓口、施設管理、改修工事、樹木剪定など数え切れない業務を外注化しています。

業務に精通している職員が職場全体を通して、また市民と共同で事業を完成させていく中にやりがいも生まれ、力を発揮するものだと思います。

しかし職務は細分化を

が、い者や高齢者の宿泊療養施設のサービス支援を打ち切ったり、芦屋病院も地域医療の最前線で感染患者と向き合っているのに国からの空床保障が削減され経営が逼迫する状況がつけられています。

山口みさえは、5類に移行しても市民の実態から継続しなくてはならない事業は、市が責任を持ち、財源を国、県にしつかり求めていくよう訴えました。

れ事業の計画策定等の事務だけの業務となれば、立派な計画を立てることはできるでしょうが、公的事業の充実は期待できません。また非正規職員が年々増加しており、現場や窓口業務は非正規労働者が中心でまわっている状況です。不安定な労働条件の圧倒的多数が女性であるのも問題です。



©YAMAGUCHIMISAE1120

市長が神戸市と広域化を提案

ごみ焼却施設
単独を決定していた

芦屋市は、2017年から4年間、負担を抑えられるだけでなく、ごみ焼却に伴う発電量の増加によって売電収入も見込むことができ、CO₂の排出量も削減可能で、過去の経緯を担当者に聞きながら未来志向のごみ処理を実現すると広域化を市民に訴えています。

2021年には基本構想を取りまとめ、現在基本計画策定が半分まで進んでいます。売却戸の形式や、公害防止基準を決定し、見交交換会も積み重ねられてきました。公約を実現するには、単独事業は中止しなければ、神戸市と広域化を進めながら国が芦屋市に単独事業として補助金を出すことはあり得ません。

重ねています。基本計画が進め、高島市長は選挙公約で、近隣市と連携して、ごみ処理施設だけでなく環境問題全般で神戸市との広域化を考えているそうだが、リーダーに必要な要素は「将来を見据えたわかりやすいビジョン」でなくては困ります。単独か、広域か一体どっち？

高島市長は選挙公約で、近隣市との共同でのごみ処理は費用